

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

乳がん

★	スマイル-絶望を喜びに変えた女性の記録-(光文社文庫と20-1)	土居 伸光/著	光文社	2008.3
★	たたかいはいのち果てる日まで-医師中新井邦夫の愛の実践-	向井 承子/著	筒井書房(発売)	2007.1
★	がんと一緒にゆっくりと-あらゆる療法をさまよって-(新潮文庫 え-15-1)	絵門 ゆう子/著	新潮社	2006.6
★	ガン日記-二〇〇四年二月八日ヨリ三月十八日入院マデ-	中野 孝次/著	文芸春秋	2006.1
★	乳がんなんかで泣かない-涙を微笑みに変えるまで-	リボンの会/著	扶桑社	2004.8
★	妻の乳房-「乳がん」と歩いた二人の十六年-(Kappa books)	村井 国夫/著	光文社	2004.5
★	部屋とYシャツと「私の真実」(集英社be文庫)	平松 愛理/著	集英社	2004.2
★	がん日記一九九三-二〇〇一年-生と死の間で生きる-	寿福(川北) 二美子/著	文芸社	2004.1
★	パリのおっぱい日本のおっぱい-ガン治療先進国での体験から-(集英社be文庫)	木立 玲子/著	集英社	2004.1
★	がんと闘う・がんから学ぶ・がんと生きる(文春文庫)	中島 みち/著	文芸春秋	2003.5
★	今日と明日のはざままで-乳がん発症闘病記-	大山 和栄/著	星湖舎	2003.5
★	彼女が乳がんになって考えた	ブレンダン・ハルピン/著	ソニー・マガジズ	2003.2
★	再発後を生きる	イデアフォー/編	三省堂	2003.1
★	乳がん私の決めた生き方-限りある命を花のように-	宮田 美乃里/著	リヨン社	2003.1
★	私たちの愛	田原 総一郎/著	講談社	2003.1
★	踊りながら私はいこう-ホスピスからの伝言-	上原 久美子/著	南方新社	2002.1
★	おっぱいが二つほしい-私が選ぶ乳房再建-	内田絵子と女性の医療を考える会/編	北水	2001.6
★	亡き娘に語る(文芸社ヒューマン選書)	ツル田 伊三男/著	文芸社	2001.1
★	死を怖れる人たちへ-がんを受容した娘の生き方-	藤井 礼子/著	講談社	2000.9
★	死亡率百パーセントを生きる-ある愛と死の記録-	木原 武一/著	新潮社	2000.6
★	アメリカで乳がんと生きる	松井 真知子/著	朝日新聞社	2000.3
	癒す力はあなたの胸に-ガン回復物語-	エリザベート・リュックハイデ/著	春秋社	1999.1
	グレース&グリット-愛と魂の軌跡-上	ケン・ウィルバー/著	春秋社	1999.1
	グレース&グリット-愛と魂の軌跡-下	ケン・ウィルバー/著	春秋社	1999.1
	天使のノック-乳ガンになって気づいた、幸せの意味-	泉 アキ/著	ゴマブックス	1999.1
	いのちの響き-みえるものみえないもの-	遠藤 郁子/著	海竜社	1998.7
	乳房再建(小学館文庫)	三島 英子/著	小学館	1998.3
	春生	三谷 春生/著	たま出版	1998.1
	天国なんか待たせておけ!-わたしの乳がん日記-	エリザ・セグレイヴ/著	三田出版会	1997.8
	がんを道連れに13年-いのちを見つめて-	宮尾 茂子/著	未来社	1997.1
	癌と私の共同生活	俵 萌子/著	海竜社	1997.1
	メイド・イン・シンガポールのおっぱい-絵子の乳ガン日記-	内田 絵子/著	北水	1996.1
	ガンわたしは幸福(しあわせ)に死ぬ	御手洗 佑美/著	主婦の友社	1995.5
	患者からのカルテ-乳ガンで逝った私はうったえる-	佐原 蓉子/著	ルック	1995.1
	いのちの声-失うことは生かされること-	遠藤 郁子/著	海竜社	1994.6
	乳がん・乳房温存療法の体験	イデアフォー/編	時事通信社	1993.1
	わが乳房を夫(ツマ)に-追想の堀江知彦-	堀江【キョウ】子/著	毎日新聞社	1992.6
	花は散らない-末期ガンの妻とともに-	小椋 康成/著	弥生書房	1992.3
	がんからの出発	ワット隆子/著	医学書院	1992.2
	アマゾネスのように	中島 梓/著	集英社	1992.1
	乳房光れり-闘病六二〇〇日、笑顔でがんを生きた日々-	大井 洋子/著	佼成出版社	1992.1
	一年ののち-娘たちに語るガン闘病の日々-	三樹 世津子/著	創風社出版	1991.1
	乳がんをかかえて生きる女たち	山中 登美子/著	広済堂出版	1990.9
	ニューヨークでがんと生きる(文春文庫)	千葉 敦子/著	文芸春秋	1990.1
	ガンを生きる-雪降る夜-	佐々木 妙子/著	探究社	1990.1
	私たちは生きる-乳がん37人の体験-	ワット隆子/編	同朋舎出版	1989.6
	「死への準備」日記(朝日文庫)	千葉 敦子/著	朝日新聞社	1989.1
	癌告知のあとで-私の如是我聞-	鈴木 章子/著	探究社	1989.1
	わたしの乳房再建(文春文庫)	千葉 敦子/著	文芸春秋	1988.1
	昨日と違う今日を生きる(角川文庫)	千葉 敦子/[著]	角川書店	1988.1
	がん患者に贈る87の勇気	ワット隆子/著	草思社	1987.6
	よく死ぬことは、よく生きることだ	千葉 敦子/著	文芸春秋	1987.4
	チーちゃん、ごめんね-ガンと闘う母から娘へ-	成田 敦子/著	光風社出版	1982

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

がん病棟の隣人	中島 みち/著	毎日新聞社	1981.1
---------	---------	-------	--------

乳がん/卵巣がん

癌からのストレス脱却へ -患者としての医療への要望-	前田 和/著	近代文芸社	1995.5
----------------------------	--------	-------	--------

乳がん/胃がん

夫婦(とも)に白髪は儂き夢よ -癌と闘った妻に捧げる歌-	岡崎 晃/著	文芸社	1999.1
------------------------------	--------	-----	--------

子宮がん

★ 子宮癌のおかげです -女弁護士の全摘57日間の記録-	渥美 雅子/著	工作舎	2003.9
★ 旅立ち -子宮ガンをのりこえて-	安藤 美智子/著	文芸社	2003.6
★ 私、延命治療はしません -ガンで余命告知された妹・智子の選択-	戸田 和子/著	リヨン社	2003.5
★ 16週-あなたといた幸せな時間-(扶桑社文庫)	向井 亜紀/著	扶桑社	2002.2
★ 今を生きる-ガン病床から興福寺北円堂まで-	茜 千津子/著	文芸社	2001.1
★ 久和ひとみ絶筆-子宮がん闘病116日の日記-	久和 ひとみ/著	小学館	2001.1
いのち煌いて	仁科 明子/著	小学館	1996.7
がんに克ち、ヨーガに生きる -神秘の力で、人生のハードルを超えた私。-	井坂 津矢子/著	恒友出版	1994.8
あね・いもうと -誰にも話さなかった姉妹の内緒話-	仁科 幸子/著	ベストセラーズ	1992.3

子宮がん/肝臓がん

★ がんよ、ありがとうがらし -二度のがん体験から見えてきたもの-	緒方 真子/著	文化出版局	2000.7
-----------------------------------	---------	-------	--------

子宮体がん

★ 赤い蝶々	ますい 志保/著	小学館	2004.8
★ 笑顔の素敵なあなたに	上原 寛奈/著	文芸社	2003.1
★ 子宮は一つ、子宮がんは二つ-子宮体がん手術と抗がん剤治療を終えて-	堺 典子/著	文芸社	2002.7
★ 看護婦ががんになって	小笠原 信之/著	日本評論社	2000.2

卵巣がん

★ 十四年十回のがん手術を生き抜いて(Kappa books)	植松 文江/著	光文社	2004.2
★ より子。天使の歌声-小児病棟の奇跡-	小笠原 路子/著	フジテレビ出版	2002.7
★ ガンになっても私、セクシィ?	竹内 尚代/著	パンドラ	2000.7
動かない手でVサイン -ガンで逝った妻、多香子に捧ぐ-	川地 民夫/著	太田出版	1989.4
妻ガンに死す -アメリカ・ロサンゼルスの一精神医の報告-	F・ロバート・ロドマン/著	新書館	1978
微笑日記	近藤 啓太郎/[著]	講談社	1975

絨毛がん

真利栄ちゃんママががんばってるよ	奥迫 康子/著	家の光協会	1996.4
------------------	---------	-------	--------

辜丸(腫瘍)がん

★ あきらめるのはまだ早い -癌と共に生きて-	岩城 世幸/著	ミッドナイト・プレス	1991.3
★ がんと向き合って(朝日文庫 う13-1)	上野 創/著	朝日新聞社	2007.4

精巣がん

★ ラフラ、24歳の遺言-あるラッパーの生涯-	枝口 芳子/著	ポプラ社	2001.2
-------------------------	---------	------	--------

前立腺がん

★ 前立腺癌切らずに治した -最新「小線源療法」体験記-	本郷 美則/著	文芸春秋	2003.7
生きてるって、奇跡! -ガンで逝ったパパからの贈りもの-	高野 ますみ/著	新森書房	1999.5
癌とたわむれて	アナトール・プロイヤード/著	晶文社	1995.1
アマリリスは咲いても -精神科医その生と死-	渡辺 博/著	NOVA出版	1991.4

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

私と木島則夫の闘い-癌と老いと2500日-	木島 喜世子/著	リム出版	1991.1
最後の戦記-癌と闘った家族の1500日-	コーネリアス・ライアン/著	文芸春秋	1982.2
輝やけ 我が命の日々よ-ガンを宣告された精神科医の1000日-	西川 喜作/著	新潮社	1982.1

肺がん

★ 33歳ガン漂流ラスト・イグジット	奥山 貴宏/著	牧野出版	2005.7
★ 32歳ガン漂流エヴォリューション	奥山 貴宏/著	牧野出版	2005.3
★ いのちの落語	樋口 強/著	文芸春秋	2005.1
★ 父のがんを知った日から	小林 智/著	寿郎社	2003.8
★ 定年大病-高齢期に避けがたい「がん」にいかに対処するか?-	岩城 喜代太/著	かんぽうサービス	2003.7
★ 「天気草」日録-肺腺癌で逝った妻への挽歌-	加藤 幸一/著	のべる出版企画	2003.7
★ 天気草-肺腺癌で逝った妻の闘病記-	加藤 明子/著	のべる出版企画	2003.7
★ 31歳ガン漂流	奥山 貴宏/著	ポプラ社	2003.1
★ 僕はガンと共に生きるために医者になった(光文社新書 057)	稲月 明/著	光文社	2002.8
★ 負けてたまるか-肺ガン刑事の長生き奮闘記-	腰原 常雄/著	二見書房	2002.1
★ 普通にしようや-17歳、父のいた日々-	加納 秀樹/著	どりむ社	2001.8
★ がんを味わう旅	佐藤 貴美子/著	新日本出版社	2001.6
★ プロジェクト・キャンサー-「けもの道」を選んだガン患者-	大橋 淳一/著	角川書店	2001.4
★ 飛鳥への伝言-がん宣告の母から息子への50通の手紙-	橘 雅子/著	講談社	2000.5
★ 後悔だらけのがん闘病(新潮OH!文庫)	中山 幹/著	新潮社	2000.1
★ がんを味わう-やまかわみつる遺稿-	やまかわ みつる/著	東銀座出版社	2000.1
妻と私	江藤 淳/著	文芸春秋	1999.7
癌の妻、癒ゆることなく-病床手記と共に-	溝部 正夫/著	短歌新聞社	1999.4
命をみつめて	英 ミチ/著	新風舎	1999.3
癌を告知されてこの一年-母の在宅看護-	千里 節/著	新風舎	1999.1
生かされて生きる	戸塚 逸男/著	文芸社	1998.7
ガンの夫を自宅で看取る-医療ソーシャルワーカーの介護日記から-(健康双書)	児島 美都子/著	農山漁村文化協会	1998.6
母のがんもど記・息子のかがん録	岩田 万里子/著	北宋社	1997.8
極楽ガン病棟	坂口 良/著	石風社	1997.5
ぼくの父はこうして死んだ-男性自身外伝-	山口 正介/著	新潮社	1996.5
かんにんな…-ガン死の夫へ-妻の弔辞-	仁科 克子/著	光文社	1996.4
イヴまで待って-肺癌告知を受けて-	安田 いづみ/著	近代文芸社	1994.7
ガンに勝った	鹿野 覚/著	雪書房	1993
がん病棟 周章狼狽記	たいら まさお/著	草思社	1992.1
生の時刻-クオリティー・オブ・ライフ-	酒井 三到男/著	かまくら春秋社	1992.1
ゆーわけ、こわけ-死を歩む母、グループケアの記録-	水沢 周/著	文芸春秋	1991.6
駆けぬけた生命-ガン-生と死をみつめて-	村田 政也/著	広済堂出版	1990.8
肺ガン病棟からの生還	野原 一夫/著	新潮社	1990.2
天国の書齋-ある終末期介護の記録-	前田 みち/著	石田ハンリサーチ出版局	1989.7
悔いてやまず-ガンで逝った夫-(文春文庫)	中島 みち/著	文芸春秋	1988.1
がんのあとさき	沢野 久雄/著	主婦の友社	1987.1
生きていた-「ガン」からの生還-	沢野 久雄/著	主婦の友社	1985.5
死はあまりにも突然に	星 由里子/著	集英社	1984.9
担癌者(キヤンサーキャリアー)	石井 仁/著	新潮社	1984.2
ガン病棟の九十九日	児玉 隆也/[著]	新潮社	1980
わが涙よ わが歌となれ	原崎 百子/著	新教出版社	1979.3

肺がん/心筋梗塞

わが命の灯を-心筋梗塞と肺ガンを越えて-	阿木 翁助/著	講談社	1990.8
----------------------	---------	-----	--------

胃がん

★ 妻の大往生(中公文庫)	永 六輔/著	中央公論新社	2005.6
★ 告知-外科医自ら実践した妻へのガン告知と末期医療-(PHP文庫)	熊沢 健一/著	PHP研究所	2004.5

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

★	砂の宴	岡村 幹/著	文芸社	2004.5
★	人生これからよ! -末期ガンを乗り越えて-	石原 美佐子/著	文芸社	2003.6
★	胃を切った仲間たち -胃切後遺症とその克服法-	升田 和比古/著	桐書房	2003.1
★	二十三年目の別れ道(扶桑社文庫)	逸見 晴恵/著	フジテレビ出版	2003.1
★	天国へのメール -鉄道マンを愛した妻から-	大内 優子/著	文芸社	2003.1
★	光 -父の遺していったもの-	久松 ゆり/著	本の森	2003.1
★	吾輩はがんである	笑福亭 小松/著	講談社	2002.1
★	三文ガン患者	谷岡 雅樹/著	太田出版	2001.1
★	有終の死 -なぜこうも心穏やかに死を迎えられたのか?(魅力学シリーズ)	志村 利之/著	プロスパー企画SC	2000.2
★	神さま、仏さま、看護婦さま。 -ドクターが、がん体験を通じて実感した看護のカー-	高橋 浩一/著	日総研出版	2000.1
	日本列島徒歩縦断!がん克服落語会	笑福亭 小松/著	講談社	1998.9
	おかあさんはここにいろよ -ガン告知、そして残された日々-	柴 芳子/著	南方新社	1997.1
	知りたがりやのガン患者(人間選書 196)	種村 エイ子/著	農山漁村文化協会	1996.1
	いのちに限りが見えたとき -夫と「癌」を生きて-	星野 周子/著	サイマル出版会	1996.1
	ガン再発す(角川文庫)	逸見 政孝/[著]	角川書店	1995.8
	家で看とること・看とられること -末期がんの母を最期まで自宅で見守ったあるサラリーマン家庭の記録-	西尾 憲太郎/著	オリジン社	1995.6
	涙のアンパンマン・マーチ	原島 久美子/[著]	書苑新社	1995.5
	絆 -がんで逝った夫の思い出-	坂元 盛香/著	新風舎	1995.1
	えみちゃんの自転車 -最愛の姉をガンが奪って-(集英社文庫)	古舘 伊知郎/著	集英社	1994.9
	愛をみつけた -大助・花子のおやオヤ日記-	宮川 大助/著	朝日新聞社	1994.8
	生きて、還りぬ。 -がん院長、進行胃がんを友に14年-	原 啓一/著	集英社	1993.1
	したたかに愛燃えて(中公文庫)	家城 久子/著	中央公論社	1991.3
	浩さん、がんばったね	野添 ひとみ/著	講談社	1988.6
	ガンとの闘い -45歳で逝った奇術師の日記から-(銀河ブックス)	伊藤 一葉/著	大和書房	1985.6
	病者・花 -細川宏遺稿詩集-	細川 宏/著	現代社	1982
	夜空の星と野の花と	吉田 邦子/著	草土文化	1979.6
	もう一度海へ行きたかった -癌に斃れた父親の日記-	永井 忠/著	朝日新聞社	1979
	生命(いのち)のきわみまで -自らのガンと闘った医師の記録-	河原 宣人/著	講談社	1971
	さようならありがとうみんな -癌と闘った夫妻の記録-(中公新書)	朝山新一/著	中央公論社	1971

胃がん/膀胱がん

	ありがとう純子 -ガンで逝った夫婦の愛の軌跡-	山本 八重子/著	いのちのこぼ社	1983.4
--	-------------------------	----------	---------	--------

肝臓がん

★	生きる者の記録佐藤健	佐藤健と取材班/著	毎日新聞社	2003.3
★	あきらめるな!肝ガン患者 -私を見捨てた大学病院、救った大学病院-	田中 孝一/著	コスモトゥーワン	2003.1
★	奪われし愛と生命 -「新婚さんいらっしゃい!」に刻まれたある夫婦の物語-	中井 一夫/著	出版文化社	2002.1
★	ガンを切る前に読む本 -医師が体験した「切らない」新手術-	町 秀夫/著	光文社	2000.2
★	たとえ病むとも(岩波現代文庫)	重兼 芳子/著	岩波書店	2000.1
★	愛妻記(岩波現代文庫)	新藤 兼人/著	岩波書店	2000.1
	生きてんの精いっぱい -人間・渥美清-	篠原 靖治/著	主婦と生活社	1997.7
	ガン手術そして二年半	秋山 秀夫/著	学生社	1997.3
	風がほしい -難病とたたかう人々へ-	瀬瀬 鈺通/共著	光陽出版社	1995.1
	幸せだったね、ハナちゃん	野々山 葉子/著	扶桑社	1994.9
	愛に癒され愛に生きる -死によって生を贈られ病いによって情を贈られる-	重兼 芳子/著	海竜社	1993.5
	私は肝移植で救われた	カルトバツサー 俊子/著	草思社	1991.5
	お父さん!ガンと言えずに... -いまは亡き父への愛の手紙-	若原 瞳/著	近代映画社	1991.1

肝臓がん/白血病

	もっと生きたい -白血病と肝臓ガンで逝った夫とその妻の手記-	吉野 啓子/著	南雲堂	1999.1
--	--------------------------------	---------	-----	--------

肝細胞がん

★	ガンに生かされて(新潮文庫 い-82-2)	飯島 夏樹/著	新潮社	2007.8
---	-----------------------	---------	-----	--------

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

★	生体肝移植を受けて -癌告知から八四〇日の闘い-(光文社新書 101)	是永 美恵子/著	光文社	2003.6
	HCCの疑いあり -肝細胞ガンとの闘い-	池田 貴/著	幻冬舎	1997.9
	三九・七歳の癌死 -五五〇日、夫の闘病につき合っ……-	前原 栄以子/著	つむぎ出版	1994.7

すい臓がん

★	ある日突然、末期癌と知って	横山 邦彦/著	碧天舎	2004.3
★	未来への伝言	藤森 誠一/著	文芸社	2003.6
★	語り部歌人・鳥海昭子のほんのり入院記	鳥海 昭子/著	本の泉社	2003.4
★	花毬の季(とき)-膵臓癌にて逝きし妻ミー坊に捧ぐ-	長友 康夫/編	文芸社	2002.8
★	テディベアがはこんだ夢(講談社青い鳥文庫 224-1)	春日 幸子/作	講談社	2002.5
★	ガンと上手につきあいなはれ	黒田 清/著	徳間書店	2000.1
	ゆびきりげんまん -ガンで逝った夫と妻の“恩愛の記”-	高橋 悦史/著	主婦と生活社	1996.7
	生と死の隣合わせに…	高橋 悦史/著	近代映画社	1996.4
	モルヒネはシャーベットで -家で看取った死-	波多江 伸子/著	海鳥社	1995.7
	七平ガンとかく闘えり	山本 れい子/著	ベストセラーズ	1994.1
	愛子いとしや	川口 松太郎/著	講談社	1982.6

腎細胞がん

★	神様どうか休息の時間を下さい -これ以上、この身体を切り刻まないで下さい-	小室 一男/著	文芸社	2003.4
---	---------------------------------------	---------	-----	--------

腎臓がん

★	時間よ止まれ! -癌よ、私の愛する夫を奪わないで-	仲川 八千代/著	文芸社	2002.3
	断崖の年(中公文庫)	日野 啓三/著	中央公論新社	1999.9
	いつのまにか朝日が -癌という経験-	武田 秀夫/著	現代書館	1996.6
	死の淵をみつめて	元木 鶏二/著	現代書館	1993.1
	道程(みち)輝きて -夫のガンと共に闘った12冊のノートから-	土田 倫里江/著	あすなろ社	1989.1

食道がん

★	英彦、パパ愛してる	松本 佳子/著	日本放送出版協会	2003.9
★	桜の花が咲くまでは -俳優・三浦洋一食道ガンと闘った日々-	三浦 真理子/著	扶桑社	2001.1
★	ガンは宿命癒しは運命 -闘って克つ新・夫婦養生訓-	関根 進/著	太陽企画出版	2000.5
★	おい癌め酌みかはさうぜ秋の酒 -江国滋闘病日記-(新潮文庫)	江国 滋/著	新潮社	2000.1
	母はボケ、俺はガン -二世代倒病顛末記-	関根 進/著	日経BP社	1999.8
	癌を語る	寛仁親王/[ほか]著	主婦の友社	1999.5
	癌め(角川文庫)	江国 滋/[著]	角川書店	1999.4
	挫けざる日々 -私の食道癌戦記-	秦 豊/著	技術と人間	1996.3
	わたしは尊厳死を選んだ -ガンに生きた900日-	細郷 秀雄/著	講談社	1993.2
	海紅豆の花あざやかに -あるガン患者の軌跡-	佐瀬 一郎/著	光陽出版社	1992.1
	ごめんね、英ちゃん -食道癌で死んだわが子・松山英太郎追想-	松山 重子/著	新日本出版社	1991.8
	メント・モリ -私の食道手術体験-	後藤 明生/著	中央公論社	1990.4
	死は「終り」ではない -山川千秋・ガンとの闘い-八〇日-	山川 千秋/著	文芸春秋	1989.3
	死にたくない! -遺作-	川上 宗薫/著	サンケイ出版	1986.4
	おれ、ガンだよ	川上 宗薫/著	海田書房	1985.7
	功、大好き -俳優木村功の愛と死と-	木村 梢/著	講談社	1982.5

食道がん/口腔がん

	安楽生と死	西野 辰吉/著	三一書房	1996.4
--	-------	---------	------	--------

口腔がん

	それでも私は生きる -ガンに耐えぬく日々-	丹羽 小弥太/[著]	主婦の友社	1976
--	-----------------------	------------	-------	------

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

舌がん

岳史よ、生命あるかぎり(講談社文庫)	加東 康一/[著]	講談社	1993.1
失われた声	加東 祥子/著	テレビ朝日	1990.1
みんなが嘘をついている -十返肇 ガンとの闘い-	十返 千鶴子/著	文芸春秋	1969

舌がん/乳がん

がん人生	塩沢 とき/著	データハウス	1992.3
------	---------	--------	--------

咽頭がん

★ 天との通信	森脇 佐和子/著	文芸社	2002.8
ガンでも治せばええやん	小紫 麗華/著	せせらぎ出版	1995.7
ガン封じ寺和尚の「死ぬに死ねない」ガン闘病記 -「あと三カ月」と言われたからこそ、わしゃがんばれた-	高田 真快/著	ポケットブック社	1991.1

喉頭がん

いまだ見ぬ風景 -作家の目で描き切ったガンとの闘い-	小堺 昭三/著	文芸春秋	1995.7
コロムビア・ライトの生きてりゃこそ	コロムビア・ライト/著	国書刊行会	1994.5

大腸がん

★ 断腸の思い -エレキの神様、大腸ガンに克つ-	寺内 タケシ/著	マキノ出版	2004.7
★ 余命半年 -そして我が妻・由紀子は鶴のように舞い立った-(Hot-nonfiction)	柴 孝也/著	悠飛社	2004.6
★ がん六回人生全快 -現役バンカー16年の闘病記-(朝日文庫)	関原 健夫/著	朝日新聞社	2003.7
★ もう恐れなくていい! -大腸ガンで亡くなった父のメッセージ-	野沢 秀雄/著	文芸社	2003.5
★ 回復室Bのドア -夫が末期ガンになったとき-	えずみ なお/著	風塵社	2003.2
★ 約束-末期がんの父が家族に残した-(小学館文庫)	高橋 一二三/著	小学館	2001.8
一緒に年取れずにごめんね -妻ががん患者になったとき-	清水 光雄/著	小学館	1999.4
ホスピスからの生還	木村 絹子/著	KSS出版	1998.7
生き尽くす人-全身小説家・井上光晴のガン-〇〇〇日-	山川 暁/著	新潮社	1997.4
がんと道連れ、ヨット人生	丹羽 徳子/著	舵社	1997.2
パパごめんね -妻、伸子を看取って-	河野 通広/著	ごま書房	1996.1
医者が癌にかかったとき 続	竹中 文良/著	文芸春秋	1995.1
人工肛門の仲間たち	築地新生会/編	桐書房	1994.8
医者が癌にかかったとき(文春文庫)	竹中 文良/著	文芸春秋	1994.5
『あと一年』からの生還 -ガンゆえに光り輝く日々-	大高 康夫/著	二見書房	1994.1
生命ある限り	阿部 幸子/著	探究社	1993.6
手術も抗ガン剤も断わって -奇跡の大腸ガン闘病記-	中野 きく子/著	潮文社	1992.9
病棟の光と翳 -がん闘病記-	阿部 幸子/著	探究社	1992.1
生命をみつめる -進行癌の患者として-	阿部 幸子/著	探究社	1991.1

大腸がん/胃がん

★ 三度目のガンよ、来るならごゆるりと	梅原 猛/著	光文社	2001.4
---------------------	--------	-----	--------

結腸がん

★ ホタルの日記 -わが子に伝える命の終章-(幻冬舎文庫 な-22-1)	中村 光代/[著]	幻冬舎	2007.2
燃えるがごとく、癌細胞を焼きつくす	長尾 宜子/著	三五館	1997.7

直腸がん

★ うさぎよ永遠に -ガンに命を奪われた歯科衛生士・三宅貴子「二百十日の闘病日記」-	三宅 貴子/[著]	鶴書院	2004.5
★ 私のがん患者術(岩波ブックレット No.569)	井上 平三/[著]	岩波書店	2002.5
★ わたし、ガンです ある精神科医の耐病記(文春新書 164)	頼藤 和寛/著	文芸春秋	2001.4
直腸ガン体験 -5年生存率への挑戦-	稲子 俊男/著	同時代社	1996.1
死の周辺	塩見 鮮一郎/著	三一書房	1996.1

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

患者がケアを求めるとき -妻の病床日記-	森 文彦/著	近代文芸社	1996.1
癌になってよかった -いのちかがやけ-	黒田 英之/著	探究社	1995.4
天空の川 -ガンに出会った河川技術者の日々-	関 正和/著	草思社	1994.1
がん告知 -解けなかったパズル-	小野 厚子/著	立風書房	1993.1
鬼よ、笑え -「旅の夏」「ガンの夏」日記-	小島 直記/著	新潮社	1992.2

虫垂がん(盲腸がん)

★ がんから始まる(文春文庫 き18-7)	岸本 葉子/著	文芸春秋	2006.4
人は死ねばゴミになる(小学館文庫)	伊藤 栄樹/著	小学館	1998.6

膀胱がん

★ オレは陽気ながん患者 -心筋梗塞もやったぜ!-	山中 恒/著	風媒社	2000.1
医者の大養生	杉浦 昭義/著	講談社出版サービスセンター	1997.8
ガンの彼方に幸いあり	山川 とおる/著	鳥影社	1996.1

膀胱がん/胃がん

いい人はガンになる	吉川 勇一/著	KSS出版	1999.3
-----------	---------	-------	--------

甲状腺がん

★ からだに寄りそう -がんと暮らす日々-	波多江 伸子/著	春秋社	2003.4
風はアゲント	吉川 なよ子/著	毎日新聞社	1999.1
その夏の別れ	和田 俊/著	筑摩書房	1996.7
ガンを見ずえて生きる -告知からの出発-	青木 日出雄/著	講談社	1988.3

胸腺がん

★ お母さんは薔薇の国へ逝った	松久 隆司/著	文芸社	2002.1
-----------------	---------	-----	--------

腺がん

★ ガンとともに生きる	ゲール・エルトン・メーヨー/著	作品社	2003.1
-------------	-----------------	-----	--------

扁平上皮がん

生命のフィールド -ガンを克服した大リーガー-	ブレット・バトラー/著	小学館	1999.3
-------------------------	-------------	-----	--------

副腎がん/顎下腺腫瘍

真紅のバラを37本	高橋 穂世/著	新声社	1983.9
-----------	---------	-----	--------

鑑状がん

裏切られたガン患者たち	岩松 久保/著	五月書房	1999.1
ガン患者が病院から追われるとき	岩松 久保/著	主婦の友社	1994.7

ユーイング肉腫

★ がんばれば、幸せになれるよ(小学館文庫 や6-1)	山崎 敏子/著	小学館	2007.8
★ 少しは、恩返しができたかな	北原 美貴子/著	講談社	2005.1
顔を失くして「私」を見つけた	ルーシー・グレアリー/著	徳間書店	1998.1

鼻腔悪性黒色腫

奇跡のトライ -鼻腔悪性黒色腫からの生還-	山下 忠男/著	池田出版	1999.3
-----------------------	---------	------	--------

平滑筋肉腫

湖の伝説-画家・三橋節子の愛と死-	梅原猛/著	新潮社	1977.1
-------------------	-------	-----	--------

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

結合組織腫瘍

わたしの天国でまた会いましょうね(集英社文庫)	クリステル・ツァヘルト/[著]	集英社	1998.2
-------------------------	-----------------	-----	--------

骨溶解性悪性血管腫

骨食い太郎 -骨が溶ける難病とガンの克服を描いた童話と手記-	松下 かつとし/著	ミネルヴァ書房	1990.6
--------------------------------	-----------	---------	--------

多発性骨髄腫

老いが老いを看るとき -血液ガンの妻を介護して-	浅妻 正美/著	日本評論社	1997.1
--------------------------	---------	-------	--------

リンドー病

ひとりのひとを哀しむならば	大沢 恒保/著	河出書房新社	1999.4
---------------	---------	--------	--------

悪性黒色腫

★ 片目を失って見えてきたもの(文春文庫PLUS)	ピーコ/著	文芸春秋	2002.6
夜明けのE・Tごっこ -がん死・こうちゃんの場合-	佐藤 桂子/著	MBC21	1999.1
I愛Eye -よってたかって目の勉強・7年後-(講談社文庫)	永 六輔/[著]	講談社	1996.1
よってたかって目の勉強	永 六輔/編著	扶桑社	1990.1
痛みと闘う(UP選書 202)	清原 迪夫/著	東京大学出版会	1979.1
死を見つめる心 -ガンとたたかった十年間-(講談社文庫)	岸本 英夫/[著]	講談社	1979

悪性絨毛上皮腫

奇跡よ妻に起これ -7日の命といわれたガンが治った!-	長峯 良斉/著	主婦と生活社	1987.5
-----------------------------	---------	--------	--------

横行結腸がん

★ 花の蕾 -がん倒れた娘への鎮魂の記-	虎谷 愛子/著	里文出版	2003.3
----------------------	---------	------	--------

血管肉腫

生きて迷わず死して悔やまず	矢田 壮一/著	講談社	1992.1
---------------	---------	-----	--------

骨肉腫

★ 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ -若き医師が死の直前まで綴った愛の手記-	井村 和清/著	祥伝社	2005.8
★ 愛と死をみつめて :新版 -ある純愛の記録-	大島 みち子/著	大和書房	2004.1
★ ちび	大塚 昌治/著	文芸社	2003.5

神経芽細胞腫

★ いのちのバトンタッチ -小児がんで逝った娘から託されたもの-	鈴木 中人/著	致知出版社	2003.1
★ 天国の我が子へ、そして子供たちへ「見てるか、お父さんを」	大津 賢司/著	文芸社	2002.5
★ さとみの青春-Hello, good-bye-	村上 淳子/編著	静岡新聞社	2001.8

肉腫

妻よ、お前の癌は告知できない	上田 哲/著	講談社	1998.3
----------------	--------	-----	--------

大腿腫瘍

片足喪失の記	高槻 博/著	柘植書房	1995.4
--------	--------	------	--------

悪性リンパ腫

★ 命の叫び -ガンとの闘い-	星 今朝子/著	東京図書出版会	2003.1
★ ぼく、何も悪いことしてないのに	小笠原 勝美/著	文芸社	2002.6
★ へこんでも-25歳ナツコの明るいガン闘病記-	多和田 奈津子/著	新潮社	2002.4
★ がんと真っ向勝負! -メンタルケアは句作りで-	三好 隆義/著	文芸社	2002.1

がん

2Fで展示しているのは2000年以降出版の本(★がついた本)になります。
それ以前の本は、自然科学コーナー(2F)、文学コーナー(B1F)、書庫などにございますので
カウンターの職員にお尋ねください。

約束 -13年目の真実-	佐藤 乃布子/著	文芸社	1999.1
吾が遊病の日々	伊東 丞/著	東京図書出版会	1999.1
時の揺りかご	西川 由起子/著	新風舎	1997.6
自家骨髄移植によるガンからの生還	駒田 道代/著	新風舎	1995.8
愛と死のはざままで -ガンと闘う夫と妻の愛と苦渋の往復書簡-	浜畑 紀/著	恒友出版	1994.1
走りつづけて -父・山谷親平 五千六百一回の朝-	山谷 えり子/著	ニッポン放送出版	1985.1

白血病

★ 白血病からの生還 -霧の中の生命-(かに心書)	大谷 貴子/著	リヨン社	2005.4
★ 永遠の愛を誓って(宝島社文庫)	安積 政子/著	宝島社	2004.6
★ 生きぬいて!愛娘 -母は負けないよ-	小西 豊海/著	文芸社	2003.4
★ 野球を愛して十八年九ヵ月 -わが息子・智紀、白血病との闘い三百七十日の記録-	稲葉 久幸/著	文芸社	2003.1
★ 幸せはどこにある -白血病を宝に変えた歩き遍路-	石山 未巳/著	新風舎	2002.9
★ 由香ちゃん笑顔ありがとう-急性リンパ性白血病と闘った由香ちゃん-	斉藤 由香/著	リトル・ガリヴァー社	2002.7
★ 天使の笑顔夏摘 -なっちゃんは白血病細胞をやっつけた-	手崎 和奈/著	文芸社	2002.1
★ 21歳の別離(わかれ)-白血病とのたたかいに青春をかけて-(学研M文庫)	遠藤 允/[著]	学研	2001.5
★ お母さん泣かないで-愛と祈りに支えられた母と娘の闘病記録-	八谷 時子/著	文芸社	2001.1
★ あたりまえの日に帰りたい -骨髄性白血病からの生還-	小林 茂登子/著	時事通信社	2000.9
★ 命よ孫よ-骨髄移植をのりこえた家族の絆--その全記録-	大泉 逸郎/著	光文社	2000.1
★ わたしはうたがうたいたい -吉野摩衣子が病床で遺した3冊のノートから-	吉野 摩衣子/著	文芸社	1999.1
★ インターネットを使ってガンと闘おう	埴岡 健一/著	中央公論社	1998.9
★ 白血病の息子が教えてくれた医者的心	丹羽 鞆負/著	草思社	1998.6
★ 生きてるってシアワセ!	大谷 貴子/[著]	スターツ出版	1998.1
★ 無菌病室の人びと(集英社文庫)	赤塚 祝子/著	集英社	1996.2
★ 微笑がえし -白血病とたたかう家族たちの絆-	遠藤 允/著	あけび書房	1995.1
★ いのち煌めいて -由希子白血病と闘った青春-	久野 哲弘/編著	東京新聞出版局	1994.1

白血病/脳腫瘍

★ 一寸先は光-それでも生きたい-	中田 完二/著	広済堂出版	2001.7
-------------------	---------	-------	--------

白血病/心筋症

★ 病院を出よう! -ネコの脱出奮闘記-	平 美樹/著	星湖舎	2004.3
----------------------	--------	-----	--------

骨髄異形成症候群

★ みんながいるから今があるから	中溝 裕子/著	ホーム社	2001.2
------------------	---------	------	--------